



「医者はなんのためにあるんだ」
医療マンガの金字塔『ブラック・ジャック』史上最大規模の展覧会開催
ブラック・ジャックの信念と葛藤を 500 点以上の原稿で解き明かす

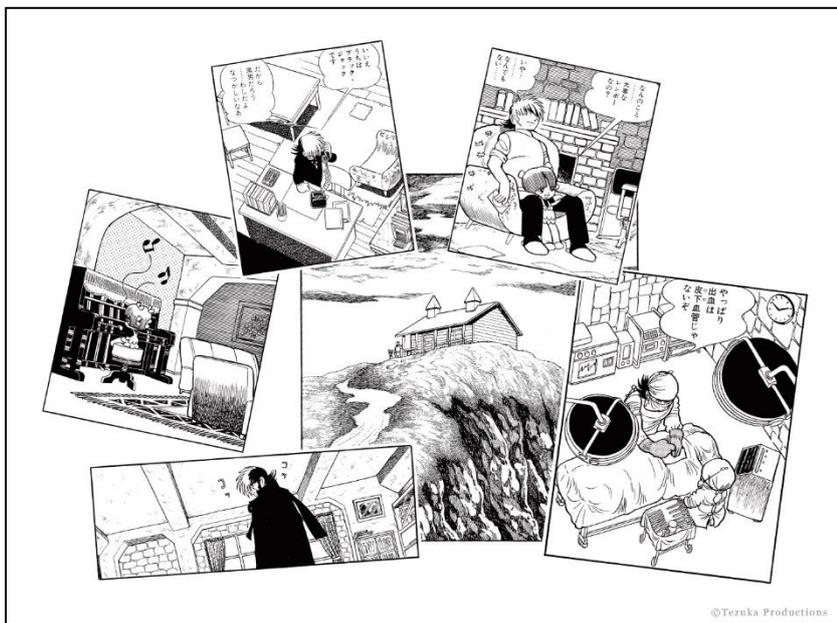
連載 50 周年記念

「手塚治虫 ブラック・ジャック展」

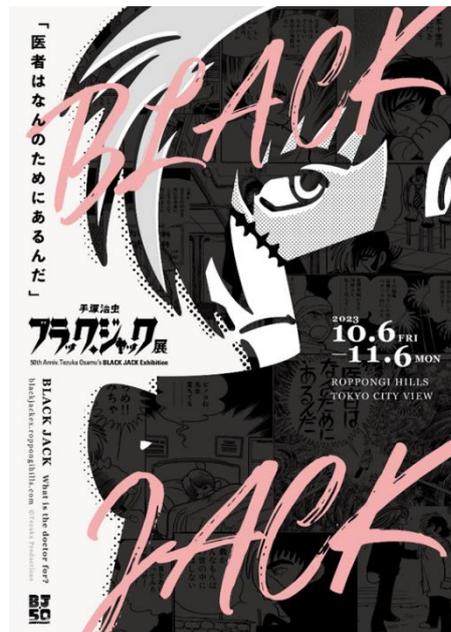
会場構成やみどころ、チケットの詳細情報を大公開！

東京シティビュー（六本木ヒルズ森タワー52階）では2023年10月6日（金）から11月6日（月）まで、連載50周年記念「手塚治虫 ブラック・ジャック展」を開催いたします。

本展は、500点以上の原稿に加え、連載当時の『週刊少年チャンピオン』や1970年代に発行された単行本、200以上のエピソードの直筆原稿が展示される『ブラック・ジャック』史上最大規模の展覧会です。『ブラック・ジャック』が描かれた昭和の当時の様々な出来事に影響を受けた作品や、手塚治虫の情熱と執念が感じられる当時の関係資料、『ブラック・ジャック』が生まれたときの秘密が解き明かされる証言映像などを多数展示！世界的に評価されている名作マンガ『ブラック・ジャック』のすべてを余すところなく体感できます。



エントランスに再現される「ブラック・ジャック邸」の元となる原作コマのイメージ
©Tezuka Productions



＜ブラック・ジャック展キービジュアル＞
©Tezuka Productions

■ 会場構成

【エントランス】

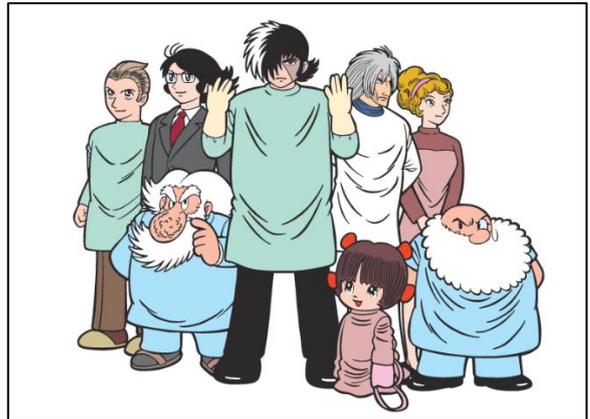
東京の絶景が広がる展望台エントランスには、「ブラック・ジャック邸」が登場します。ブラック・ジャックとピノコが過ごしたお馴染みの家を、マンガの原作コマを元に、内装、間取りなどを再現しています。手術室も兼ねたブラック・ジャック邸内では、ブラック・ジャックになりきって、オペーション風の記念撮影ができます。まるで『ブラック・ジャック』のマンガの世界に飛び込んだような空間をお楽しみください。

【第1室】B・Jとキャストたち ※「B・J」は「ブラック・ジャック」の略称

エントランスから通路を進むと、『ブラック・ジャック』の登場人物たちが出迎える第1室が始まります。**ブラック・ジャック、ピノコ、ドクター・キリコ、如月恵、本間丈太郎などのキャラクターたちと自由に写真が撮れるフォトスポットとなっています。**第1室では、作品に登場する個性豊かなキャラクターたちの裏話や謎を各登場エピソードと併せて紹介し、『ブラック・ジャック』が織り成すストーリーをわかりやすくご覧いただけます。

これまで何度も読み返した方も、今回初めて出会った方も、『ブラック・ジャック』の世界に没入することができます。

フォトスポットのキャラクターイメージ画像
©Tezuka Productions
※実際の展示内容とは異なります。



【第2室】B・J 誕生秘話

第2室では手塚治虫が『ブラック・ジャック』を生み出すにいたる背景を当時の資料とともにご覧いただけます。マンガの“神様”といわれた手塚治虫の『新寶島』や『鉄腕アトム』の作品資料に加え、医大時代の資料などの手塚治虫と医療の深い関わりがわかる貴重な資料もご覧いただけます。さらに、『ブラック・ジャック』が初めて登場した記念すべき**第一話目の原稿**や、本展のために新たに収録した、『ブラック・ジャック』誕生の秘密を解き明かす**手塚プロの関係者、出版に携わった編集者などの証言映像**を上映します。

50年前の当時、型破りとも思われた「医療を描いたマンガを少年誌に掲載する」という手塚治虫の前代未聞の発想の秘密を、展示を通して解き明かします。

<『ブラック・ジャック』第1話「医者はどこだ！」より>
©Tezuka Productions

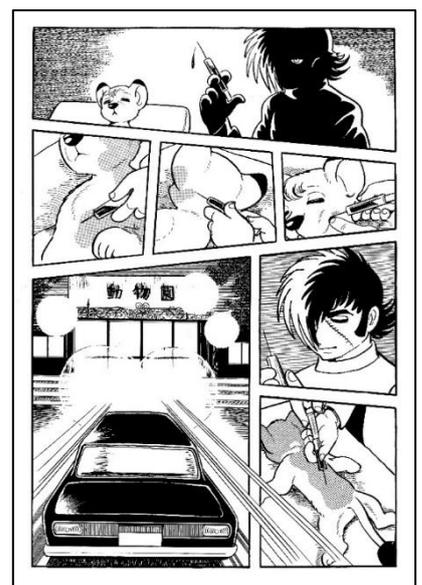


【第3室】B・J 曼荼羅

第3室は、マンガ『ブラック・ジャック』の約140話の原稿が並ぶ**圧巻の展示空間**で、**これだけのエピソードの原稿が展示されるのは史上初**です。ブラック・ジャックやピノコ、それぞれのストーリー全体を通しての遍歴、高額請求の謎や、動物のいのちを扱った作品など、主要なテーマごとに作品を展示します。『ブラック・ジャック』にまつわる疑問を解決したり、裏設定を発見したりと、様々な視点からお楽しみいただけます。また、手塚が生み出した、作品のキャラクターを俳優のようにとらえ、様々な作品に登場させる「スターシステム」にまつわる展示も必見です。

『ブラック・ジャック』の多種多様なストーリーの世界を、さながら“ブラック・ジャック宇宙”をさまようような感覚で観賞できます。来場者それぞれが見たことのある『ブラック・ジャック』に必ず出会い、さらに、知らなかった『ブラック・ジャック』の新たな魅力を見出せます。

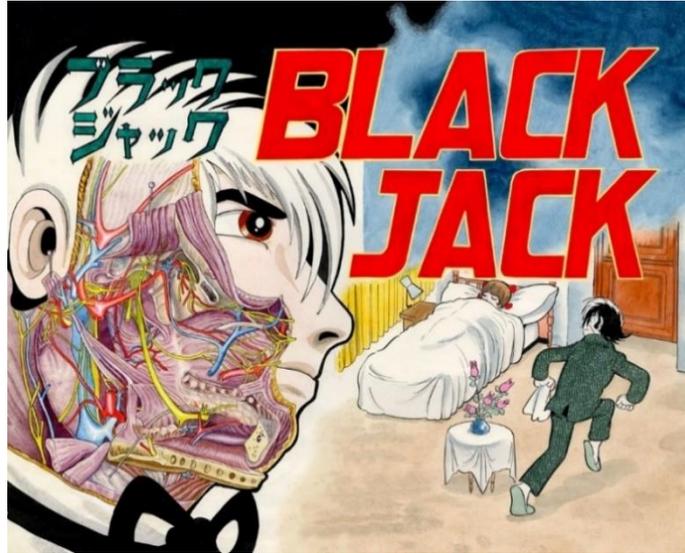
<『ブラック・ジャック』第40話「白いライオン」より>
©Tezuka Productions



【第4室】B・J 蘇生

いま見ても新しい感覚の『ブラック・ジャック』。第4室では手塚治虫の最人気作である『ブラック・ジャック』の魅力は今と当時の視点から探ります。当時の読者が驚き惹きつけられた“人体の手術シーン”を現代アートの視点から鑑賞する展示や、第一線で活躍している医療従事者たちもリスペクトするブラック・ジャックを、医療の側面から鑑みるコーナーも展開します。また、週刊で連載されていた『ブラック・ジャック』には、昭和当時の事件や事象、流行などがストーリーの中に織り込まれています。それらが実際に、どのようにしてマンガに描かれているのか、当時のニュース映像とともに『ブラック・ジャック』を読み解くコーナーなども展開します。

現代に蘇る『ブラック・ジャック』の魅力をお楽しみください。



＜『ブラック・ジャック』第17話「灰色の館」扉絵＞
©Tezuka Productions



＜『ブラック・ジャック』第29話「ときには真珠のように」より＞
©Tezuka Productions



＜『ブラック・ジャック』第51話「ちぢむ！！」より＞
©Tezuka Productions

※展示内容は予告なく変更になる場合があります。

【SPECIAL】

① 「手塚治虫 ブラック・ジャック展」東京会場公式ファシリテーターに宮田裕章氏が就任

宮田裕章氏（慶應義塾大学医学部）を「手塚治虫 ブラック・ジャック展 東京会場公式ファシリテーター」として、「いまにも通ずるブラック・ジャック」をテーマに、本展会期中にトークイベントをオーガナイズしていただきます。現代の医療や社会課題にも通ずる『ブラック・ジャック』の本質を読み解く議論を盛り上げていただきます。（東京展のみ）

■宮田裕章氏コメント

「手塚治虫先生が『ブラック・ジャック』という作品を通して、私たちに投げかけた問いは、時代を超えて今なお重要な意義を持っています。これは医療に関わる多くの人々が『ブラック・ジャック』という作品を、現在も大切に思っていることにもつながります。

この数十年の中で、医学や科学は急速に発展しました。その一方で医学の意義、そして医療のあり方についての議論はますます深まっています。現代は、かつてよりも多くのいのちが救えるようになりました。しかし、それゆえにその過程にある選択、その背景にある格差、技術がもたらす新たな尊厳の問題と向き合うことが不可欠なのです。

また新型コロナウイルスによって医療と社会の関係性についても様々な課題が浮かび上がりました。医療は独立した1つのモジュールではなく、社会そのものと密接に結びつき、私たちの世界を構成しています。手塚先生はすでに、社会や医療の双方の歪みをもたらす問題についても、『ブラック・ジャック』で描いてきました。

科学や医療の急速な発展と、社会のあり方が変化する現在だからこそ、手塚治虫先生の普遍的な問いに向き合うことが大切だと感じています。『ブラック・ジャック』という作品の魅力や作品を通して感じる未来を、皆さまと一緒に考えるこの機会を楽しみにしております。」

■宮田裕章氏プロフィール

慶應義塾大学医学部教授、データサイエンティスト

1978年生まれ。2003年東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻修士課程修了。同分野保健学博士（論文）。早稲田大学人間科学学術院助手、東京大学大学院医学系研究科 医療品質評価学講座助教を経て、09年4月東京大学大学院医学系研究科医療品質評価学講座 准教授、14年4月に同教授に就任（15年5月から非常勤）。15年5月から慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室教授、20年12月から大阪大学医学部招へい教授に就任。著書に「共鳴する未来 データ革命で生み出すこれからの世界」河出新書、「データ立国論」（PHP新書）などがある。



② #ブラック・ジャック展「名ゼリフ」大募集！ Twitter キャンペーン

心に刺さる『ブラック・ジャック』名ゼリフ大募集！あなたの選んだ『名ゼリフ』が東京展に登場するかも？！マンガ『ブラック・ジャック』の数々のセリフの中から、あなたが思う「名ゼリフ」を募集します。命の重みを問う辛辣なセリフや社会矛盾を突く一言等、心に刺さるあなたの1番を投稿してください。

【応募方法】

あなたの選ぶ名ゼリフと登場する話の「タイトル」、「#ブラック・ジャック名ゼリフ」、「#ブラック・ジャック展」の2つのハッシュタグを付けてツイートしてください。

【応募期間】

2023年8月3日（木）～8月31日（木）

※結果は会場でご確認ください。

医師は
あなたのために
あるのだ

手塚治虫
ブラック・ジャック展
50th Anniversary Tezuka Osamu's BLACK JACK Exhibition

#ブラック・ジャック 名ゼリフ大募集！

あなたの選んだ名ゼリフが東京展に登場するかも？！

©Tezuka Productions

③ 特別製作アート・ブック発売決定！

50周年を記念した展覧会のアート・ブックを展覧会会場限定で発売します。『ブラック・ジャック』の魅力を大型の高級アート・ブックとして鑑賞できる、ファン必見の内容が満載の特別なアート・ブックです。

発売日：2023年10月6日（金）展覧会会場限定発売

価格：未定

版型：B4大型、約176ページ、ハードカバー

特別製作アート・ブック イメージ画像
©Tezuka Productions



■ チケット情報

8月2日（水）11:00より、お得なペアチケット&前売券を販売開始！

【ペアチケット】

親子、友人、カップルにお得な2枚1組のチケット

- ◆料金（税込）：3,800円
- ◆販売：2023年8月2日（水）～なくなり次第終了
- ◆販売場所：ローソンチケット



©Tezuka Productions

【前売券】

- ◆料金（税込）：一般＜平日 2,100円・土日祝 2,300円＞
学生（高校・大学生）＜平日 1,600円・土日祝 1,700円＞
子ども（4歳～中学生）＜平日 800円・土日祝 900円＞
シニア（65歳以上）＜平日 1,800円・土日祝 2,000円＞
- ◆販売期間：2023年8月2日（水）～11月6日（月）
- ◆販売場所：ローソンチケット、東京シティビューオンランチケット

<チケット注意事項>

- ※4歳未満は無料です。
- ※料金はすべて税込です。
- ※障がい者手帳をお持ちの方（介助者1名まで）は無料です。
- ※本展は事前予約制（日時指定券）を導入しております。

■ 開催概要

- ◆ 展 覧 会 名 : 手塚治虫 ブラック・ジャック展
(英名 : 50th Anniv. Tezuka Osamu's BLACK JACK Exhibition)
※手塚治虫の「塚」は旧字体が正式表記です。
- ◆ 会 期 : 2023年10月6日(金)～2023年11月6日(月)
- ◆ 開 館 時 間 : 10:00-22:00(最終入館 21:00)
- ◆ 会 場 : 東京シティビュー (東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー52階)
- ◆ 主 催 : 東京シティビュー、NHK、NHK プロモーション
- ◆ 企 画 協 力 : 手塚プロダクション
- ◆ 特 別 協 力 : 秋田書店
- ◆ 協 力 : ニューハート・ワタナベ国際病院
- ◆ 後 援 : J-WAVE
- ◆ 入 館 料 : 一般<平日 2,300円・土日祝 2,500円>
学生(高校・大学生) <平日 1,700円・土日祝 1,800円>
子ども(4歳～中学生) <平日 900円・土日祝 1,000円>
シニア(65歳以上) <平日 2,000円・土日祝 2,200円>
※料金はすべて税込です。
※障がい者手帳をお持ちの方(介助者1名まで)は無料です。
※本展は事前予約制(日時指定券)を導入しております。
※東京シティビュー(屋内展望台)の入館券ではご入場いただけないエリアがあります。(追加料金が別途かかります。)
- ◆ 公 式 サイト : 【東京会場公式サイト】 <https://blackjackex.roppongihills.com/>
【NHKプロモーション展覧会サイト】 https://www.nhk-p.co.jp/nps_bjx
- ◆ 公 式 SNS : 【展覧会公式 Twitter】 <https://twitter.com/BJExTwt>
【展覧会公式 Instagram】 <https://www.instagram.com/blackjackexinsta/>
- ◆ 問 い 合 わ せ : 東京シティビュー 03-6406-6652 (受付時間 10:00～20:00)
※その他の詳細情報は、順次公開予定です。
※本展覧会に関する情報は予告なく変更になる場合があります。
最新情報は展覧会公式サイトおよび展覧会公式 SNS にてご確認ください。

【『ブラック・ジャック』連載 50 周年記念関連情報】

■「AI×手塚治虫」は終わっていなかった～『ブラック・ジャック』続編今秋公開！！「TEZUKA2023」プロジェクト

AI と人間のコラボレーションでマンガの神様・手塚治虫に挑み、新作「ばいどん」を生み出した「TEZUKA2020」。その後もプロジェクトは継続して「AI と人間の共創マンガの実現」に取り組んで来ました。そして3年を経た今、「TEZUKA2023」として今年連載 50 周年を迎えた『ブラック・ジャック』の続編制作に着手し、今秋に週刊少年チャンピオン誌で公開します。詳しくは、下記 URL (<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000001.000123762.html>) をご確認ください。



■「BLACK JACK LIMITED SHOP」巡回開催中

「ブラック・ジャック」イベント限定グッズをはじめ、アーティストとのコラボレーショングッズ等の販売や複製原稿等を展示する「BLACK JACK LIMITED SHOP」が巡回開催中です。今後の巡回予定等の情報は、手塚治虫作品イベント公式 Twitter (https://twitter.com/BLACKJACK__1973) をご確認ください。

■『ブラック・ジャック』連載 50 周年記念テーマソング「紡ぐ」に決定

『ブラック・ジャック』連載 50 周年記念テーマソングが、Ryuji こと俳優の佐藤流司と PENICILLIN の HAKUEI によるバンドプロジェクト・The Brow Beat の「紡ぐ」に決定しました。「紡ぐ」は The Brow Beat のデビュー5周年ニューシングル「ラブレター」の Type-04 に収録されています。

詳細は手塚治虫公式サイト (<https://tezukaosamu.net/jp/mushi/entry/26529.html>) をご確認ください。

【本展に関する記事・報道のお問い合わせ】

「ブラック・ジャック展」広報事務局 (共同ピーアール内) 担当 : 安田・西室・庄司・菅原
TEL : 090-7909-5164 (安田) 、03-6264-2059 / FAX : 03-6700-5620
Email : bj-exh-pr@kyodo-pr.co.jp